

滅菌器材管理室



メンバー構成

看護師長1名、副看護師長1名
医療補助員19名（第1種滅菌技師1名、第2種滅菌技士4名）技能員1名

滅菌器材管理室では、医療行為に使用した汚染器材を洗浄・組立・滅菌し、現場に安全な器材を適切に供給します

洗浄



自動ジェット式超音波洗浄装置

洗浄とは、血液などの汚染物を器材から除去する事で、効果的な殺菌や滅菌をするためには重要な役割を果たします。適切な洗浄を行うことで、器材表面の付着微生物を1/10,000以下にまで減少させることができます。



当院では、さまざまな器材の洗浄に対応するため、7種類の洗浄装置を使用して洗浄を行っています。



点検・組立



組立は1本ずつ
正確に確実に
汚れ？劣化？

洗浄後、拡大鏡付きスタンドを使用し汚れが残っていないかを目視で確認します。次に、器械の関節部分がスムーズに動くか、ハサミの切れが悪くないかなど、器械のメンテナンスを行います。その後、器械のセット組みを行います。



滅菌



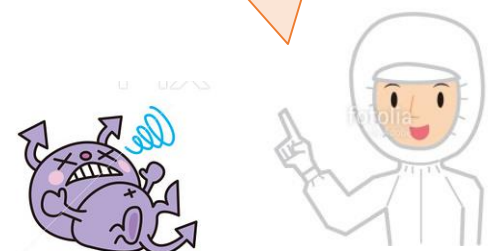
高圧蒸気滅菌器

滅菌とは、微生物を殺滅または除去する事です。滅菌の方法として高圧蒸気滅菌、酸化エチレンガス滅菌、過酸化水素プラズマ滅菌などがあります。器材の素材、性質に合った滅菌法を行います。



過酸化水素プラズマ滅菌器

滅菌終了後、滅菌評価を確認して各診療科に供給しています。



当院は国内でもトップクラスの設備を有してします。
患者さんに**安全な医療器材を提供**できるよう努めてまいります。

